一定の投資性金融商品の販売に係る

重要情報シート（個別商品編）

投資信託

1.商品等の内容（当社は、組成会社等の委託を受け、お客様に商品の販売の勧誘を行っています）	
金融商品の名称・種類	八十二　信州応援日本株ファンド
組成会社（運用会社）	明治安田アセットマネジメント株式会社
販売委託元	明治安田アセットマネジメント株式会社
金融商品の目的・機能	わが国の金融商品取引所に上場されている「信州関連株式」および「高配当日本株式」に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。信州関連株式の運用においては、信州関連株式の中から財務状況や流動性、バリュエーション等を考慮して銘柄を選定します。「高配当日本株式」の銘柄選定にあたっては、予想配当利回りが市場平均を上回り、配当や業績等の安定性が高いと判断される銘柄を厳選し投資を行います。
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	国内の金融商品取引所に上場されている株式に実質的に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行うことから、中長期での資産形成を目的とし、元本割れリスクを許容するお考えをお持ちのお客さま ご投資金額の一定割合を「信州関連株式」に投資するため、それに伴う流動性リスク等をご理解したお客さま
パッケージ化の有無	パッケージ化商品ではありません。
クーリング・オフの有無	金融商品取引法第37条6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

（質問例）

① あなたの会社が提供する商品のうち、この商品が、私の知識、経験、財産状況、ライフプラン、投資目的に照らして、ふさわしいという根拠は何か。

② この商品を購入した場合、どのようなフォローアップを受けることができるのか。

③ この商品が複数の商品を組み合わせたものである場合、個別の商品購入と比べて、どのようなメリット・デメリットがあるのか。

2.リスクと運用実績（本商品は、円建の元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）	
損失が生じるリスクの内容	ファンドが有する主なリスクは以下の通りです。（以下に限定するものではありません。） 株価変動リスク：保有する株式価格が下落するリスク 流動性リスク：市場における流動性が低くなった場合、希望する価格等で売買ができないことによって損失を被るリスク 信用リスク：有価証券等の発行体の破綻や債務不履行によって損失を被るリスク
〔参考〕 過去1年の収益率	27.9%（2026年1月末現在）
〔参考〕 過去5年の収益率	平均：19.2%　最低：-2.0%（2025年4月）　最高：43.7%（2024年3月） （2021年2月～2026年1月の各月末における直近1年間の数字）

※ 投資リスクの内容の詳細は、交付目論見書の「投資リスク」、運用実績の詳細は「運用実績」の項目に記載しています。

（質問例）

④ 上記のリスクについて、私が理解できるように説明してほしい。

⑤ 相対的にリスクが低い類似商品はあるのか。あればその商品について説明してほしい。

3.費用（本商品の購入または保有には、費用が発生します）	
購入時に支払う費用（販売手数料など）	お申込金額（*）に応じて、下記の手数料率を約定金額（投資に回った元本金額（基準価額×申込口数））に乗じて得た金額がかかります。 お申込金額：手数料率 1,000万円未満：2.20%（税抜2.00%） 1,000万円以上1億円未満：1.65%（税抜1.50%） 1億円以上：1.10%（税抜1.00%） ＊ お申込金額：約定金額にお申込手数料およびお申込手数料にかかる消費税相当額を加算した金額 ※ オンライントレードでご購入いただくと、上記お申込手数料より0.5%（課税前）割引いたします。（投信るいとう自動積立取引による購入を除きます。） ※ オンライントレードの1回あたりの約定金額上限は3,000万円です。
継続的に支払う費用（信託報酬など）	信託報酬の総額は、ファンドの純資産総額に信託報酬率年1.463%（税抜1.33%）を乗じて得た額です。その他の費用・手数料等が実費でファンドから支払われます。これらは事前に料率、上限等を表示することはできません。
運用成果に応じた費用（成功報酬など）	ありません。

※ 上記以外に生ずる費用を含めて、詳細は交付目論見書の「手続・手数料等（ファンドの費用・税金）」の項目に記載しています。

（質問例）
⑥ 私がこの商品に〇〇万円投資したら、それぞれのコストが実際にいくらかかるのか説明してほしい。
⑦ 費用が安い類似商品はあるか。あればその商品について説明してほしい。
⑧ 上記費用について、何の対価か説明してほしい。

4.換金・解約の条件（本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります）
この商品の償還期限はありません。但し、繰上償還の場合があります。
この商品に解約手数料や信託財産留保額は生じません。
市場の閉鎖、その他やむを得ない事情があるときは、換金・解約ができないことがあります。 信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金の申込みには制限を設ける場合があります。

※ 詳細は交付目論見書の「手続・手数料等」の項目に記載しています。

（質問例）
⑨ 私がこの商品を換金・解約するとき、具体的にどのような制限や不利益があるのかについて説明してほしい。

5.当社の利益とお客様の利益が反する可能性
お客さまがこの商品を購入した場合、お客さまが支払う信託報酬総額（年率）のうち、販売会社に係る分は、年0.77%（税抜0.7%）です。これは運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価です。
当社は、この商品の組成会社等との間で資本関係等の特別な関係はありません。
当社の営業員に対する業績評価上、この商品の販売が他の商品の販売より高く評価されるような場合はありません。

※ 利益相反管理方針の概要については、当社ホームページをご覧ください。
https://www.82sec.co.jp/info/images/conflict.pdf

（質問例）
⑩ あなたの会社が得る手数料が高い商品など、私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先した商品を私に薦めていないか。私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先する可能性がある場合、あなたの会社では、どのような対策をとっているのか。

6.租税の概要（NISA成長投資枠、NISAつみたて投資枠、iDeCoの対象か否かもご確認ください）
分配時：配当所得として課税（普通分配金に対して20.315%）
換金（解約）時及び償還時：譲渡所得として課税（換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%
NISA成長投資枠対象商品です。（当社ではiDeCoの取扱いはございません）

※ 上記は個人投資家の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。
※ 法人の場合は上記と異なります。
※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。
※ 詳細は交付目論見書の「手続・手数料等」に記載しています。

7.その他参考情報（契約にあたっては、次の書面をよくご覧ください）	
当社が作成した目論見書補完書面	【該当銘柄のURL】 https://www.82sec.co.jp/product/images/materials/meijiyasuda_1.pdf ※ PDF形式で掲載しています。 ※ オンライントレードのお客さまはお取引の画面上でもご確認いただけます。
組成会社（運用会社）が作成した交付目論見書	【該当銘柄のURL】 https://ficom2.artis-asp.jp/a736563383/documents/1231119B/kk ※ PDF形式で掲載しています。 ※ オンライントレードのお客さまはお取引の画面上でもご確認いただけます。

※交付目論見書、目論見書補完書面、重要情報シートは、ご希望がございましたら紙でもお渡しします。

【お願い】 各項目の下部にある（質問例）のように、ご不明点や疑問点については担当の営業員にお尋ねください。

2026年4月25日

八十二証券